

巡回展「ノーベル賞を受賞した日本の科学者」実施報告書

記入日：令和8年6月12日

館名・団体名	いわき市石炭・化石館 ほるる
部署・担当者氏名	学芸員 畔野翔太

1. 開催概要

開催期間

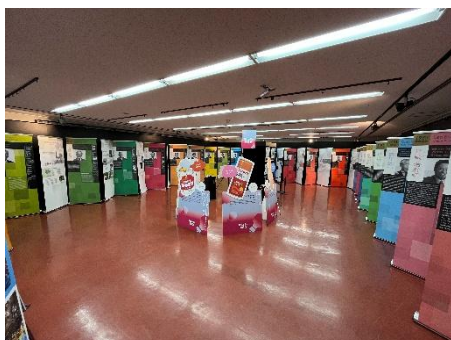
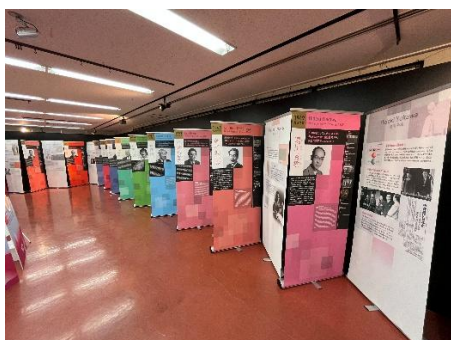
令和8年3月20日(金・祝) ~ 令和8年5月10日(日)

開催日数：51日(休館日を除いた日数をご記入ください)

展示会場広さ(展示会場平面図があれば、別途添付してください)

約 110 m²

開催の様子(写真)





○追加展示「暮らしの中の発明品」



○関連イベント

おもしろ！発明ワークショップ「アイデアは未来の宝箱」

実施日：令和8年4月18日（土） 発明の日

講師：酒井俊之 氏（デロイトトーマツ弁理士法人 副所長兼弁理士）

参加人数：16名



2. 開催にあたって

開催までのながれ（設営・撤去における対応スタッフ数）

	令和8年3月14日	展示物搬入
令和8年3月14日	～ 令和8年3月19日	設営(2人)
令和8年3月20日	～ 令和8年5月10日	開催
令和8年5月11日	～ 令和8年5月12日	撤去(2人)
令和8年5月13日		展示物搬出

内容および運営上の工夫があればご記入ください

- ・研究者紹介と研究紹介のパネルに角度をつけて対に配置し、省スペース化を図ることで、限られたスペースの中でより多くのパネルを設置できるように工夫した。また、展示の見栄えを意識して、受賞者の顔写真ができるだけ入口側を向くようにパネルを配置した。
- ・2025年にノーベル賞を受賞した2名の研究者の紹介パネルを追加で作成していただき、直近で話題となったノーベル賞受賞者についても紹介した。
- ・ノーベル賞のパネル展示に加えて、乾電池などの「暮らしの中の発明品」に関する展示コーナーを設けることで、より身近な物から発明や発見のおもしろさや科学への関心を持ってもらえるように工夫した。

展示物に対する来場者の反応はどうでしたか

- ・パネルを見て「ノーベル科学賞を受賞している日本人がこんなにいたとは知らなかった」など率直な反応をする来場者や、受賞者の先生方の研究ノートなどの資料や、色紙を熱心に見ている親子など、展示物は好評だった。
- ・研究者紹介、研究紹介パネルは時間をかけて見ている来場者が多く、展示全体への反応は良く、手ごたえを感じた。

3. 広報について

広報方法(チラシ等のデータがあれば、別途添付してください)

- ・チラシ・ポスターの配布(別途添付)
- ・ホームページ(当館 HP、いわき市観光サイト、福島観光情報サイトなど)
- ・SNS(当館 Facebook、いわき市観光情報公式 X)
- ・メディア(テレビ: NHK、ラジオ: ラジオ福島・ふくしま FM・FM いわき、新聞: 福島民報)
- ・広報紙・情報誌(いわき市広報誌、福島県文化センター情報誌、CJMonmo)

*この報告書やチラシ、写真は国立科学博物館の web にて紹介させていただきます。